

## (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、祖父母が関西に住んでいるため、地元である福岡を出て、関西にある大学に進学したいと考えていました。2年生の初め頃から看護学部を目指すつもりで、同志社女子大学に新設の看護学部があること、学内設備も整っており、言葉もよく、国家試験の合格率も高いと聞いたので、受験校を同志社女子大学に決めました。

## (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

## [1学期]

受験勉強とはじめにしたいことは、1,2年生の時に習ったことの復習です。本来は自分の苦手な分野を繰り返し復習するほうが効果的かと思いますが、私の場合、どこがわからないのか、何が苦手なのか曖昧になっていたので、もう一度大まかに習ったところをざらと復習しました。(2年生のお手ぐらひからはじめました)テキストや模試のやつはおいたノースツープにやったのですが、バラバラになってしまい、復習しづらく感じたので、ノートにまとめておけばよかったなと思いました。

## [夏休み]

私の学校は毎年、夏休み明けの9月上旬に運動会があり、3年生は夏休み期間中、運動会関係の仕事や練習で大忙し。私もアートをいため、休学中にはほとんど練習があり、とても勉強勉強の夏休みとはいえないですね。そんな夏休みを見越して、「このままじゃ絶対に夏休み勉強が進まない!」と思った私は、事前に予備校の夏期講座を調べて申し込み、放課後の練習のあとの疲れた時間帯にある講義を入れることで、強制的に自分を勉強に向かわせました。親にお金を払ってもらっているからには言葉を自分のものにしてほしいという気持ちもあり、結果、勉強に集中することができました。

## [2学期～入試直前]

この期間は、「空き時間をいかに有効につかうか」を特に意識していました。空き時間を意識するのは、時間に対する考えや時間の使い方がだいぶ変わったな、と実感できました。例えば通学や塾の移動中に使う電車やバスの中、学校の授業の間など、私は、自作のノートを開いて、ひたすら言葉を書き返していました。そのノートには、どうしても覚えられない単語や、苦手な公式、学校の先生から教えた大切なポイントや役に立つ知識など、絶対に覚えおきたいことを、書き写すの直前に確認しておくことを自分なりにまとめた。このような要点をまとめたノートも、自分が勉強した証として、今でも頑張ってきたことが、ざっと濃縮された感じがして、このノートを持っているだけで「自分は今までよく頑張ってきた」と思えた。私のお守りのような存在だったので、作るよかったです。

## (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は、部活動はしていませんでしたが、習いごとなどの校外での活動をいろいろしていました。学校行事にも積極的に関わることができました。3年生になると、気持ちが本格的に受験勉強に向かう。気がついたら夏になっていました。夏は学校の運動会シーズン真っただ中で、私がさりとて受験勉強に取り組み始めるのは運動会が終わった9月からです。模試の成績もよくなったが、先生や家族に励ましてもらった。相談したとしても、不安定な私の心を支えてくれたのは周りの友だちでした。私は毎日放課後、完全下校の時間まで友だちと学校に残って自習していました。隣に、同じ月曜日の日に向けて一生懸命頑張っている友だちがいてくれる。「自分に負けるな、頑張る、一歩に乗り越えていく」という気持ちになり、自分のやるべきことにしっかり向き合う姿勢を維持することができました。苦しいことを分かると、一歩に頑張れる友だちがいて本当によかったと思います。

## (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験を終えて、「今日一日をしっかりと頑張ろう! やりきるぞ!」という気持ちが大切で、受験も一日一日の積み重ねだ、と実感しました。本番の日まで待たず「長いなあ」と感じられると思うけど、本当にある、という期間です。これからしんどいこと、辛いこと、いろいろあるかもしれませんが、それ乗り越えられたら、普段楽しい、嬉しいと感じることがさらに2倍3倍楽しい喜びを感じると思います! 受験が終わったあと、やりたいことをグッと自分のモチベーションにしたいのもいいかもしれません。受験期は辛いけど、自分を成長させる大切な時期になると思います! 目標に向かって頑張ってください!